

長岡市立図書館資料選定基準

平成5年3月31日制定

平成20年2月1日改正

平成21年12月1日改正

1 原則

『長岡市立図書館の資料収集方針』に従って、各館の規模や機能といった特徴を踏まえ、資料を選定する。さらに、お互いに資料収集を分担することにより、図書館全体として「基礎的な資料から専門的な資料まであらゆる分野について段階的に幅広く収集」することができるよう協力し合うものとする。

利用者が閲覧を希望する資料で、当市の図書館が所蔵していない場合は、蔵書構成等を考慮しながら、購入の可否を検討する。

2 各館の特徴と資料を収集する場合の基本的な考え方

(1) 長岡市立図書館の組織は、次のとおりである。

ア 中央図書館

イ 地域図書館

互尊文庫、西地域図書館、南地域図書館、北地域図書館、中之島地域図書館、寺泊地域図書館、寺泊地域図書館大河津地区図書室、栃尾地域図書館

ウ 館外奉仕室

エ 文書資料室

(2) 中央図書館について

当市における図書館サービスの中心として、市民のさまざまな要求に応えることはもちろん、地域図書館への資料的バックアップもできるよう、一般図書・児童図書・専門図書・レファレンス資料（事典・統計等）など大学の一般教養課程程度までの資料を幅広く収集する。また、郷土資料と美術資料は、図書館の基本計画でもうたわれているとおり、重点的に収集する。

図書館ネットワークを維持していくために、当市全体の資料管理を行う。

(3) 地域図書館について

地域図書館は、長岡市立中央図書館の分館として、乳幼児から高齢者まで日常生活の中で必要とされる資料を提供するため、小説・実用書を中心に収集する。

中央図書館や地域図書館同士で連携を図り、効率的に収集する。

また、日常的課題にこたえるレファレンス資料や、郷土資料、地域図書館ごとの特色資料を収集し、市民の調査の援助を行う。

(4) 館外奉仕室について

自動車文庫や団体貸出向けの資料を収集する。学校・保育園をはじめとする貸出対象、貸出冊数、貸出期間を考慮して、小説・実用書・児童書・絵本・紙芝居などを必要に応じて複数収集する。

(5) 文書資料室について

「長岡市歴史的資料の保存及び利用に関する要綱」による。

3 各館で収集する資料種別

各館において収集する資料の種類は、次のとおりである。

図書館名	収集する資料
中央図書館	一般図書・参考図書・専門図書・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・美術資料・郷土資料（特別資料・古文書を含む）・外国語資料・視聴覚資料・雑誌・新聞・特色資料（伊東多三郎文庫＝歴史関係資料、笠輪勝太郎文庫＝長岡市郷土資料関係資料、川上四郎文庫＝絵本・児童画関係資料、斎藤和代文庫＝教育関係資料、酒井洋文庫＝工学関係資料、反町茂雄文庫＝長岡市郷土資料関係資料、星野慎一文庫＝ドイツ文学関係資料、堀口大学コレクション＝堀口大学関係資料、国書、漢籍）
互尊文庫	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（非核・平和に関する資料）
西地域図書館	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（昔話に関する資料、信濃川・橋に関する資料）
南地域図書館	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・ユニバーサル文庫（字幕付ビデオテープ・CDなど）、特色資料（醸造に関する資料）

北地域図書館	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（緑花に関する資料、花火に関する資料）
中之島地域図書館	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・視聴覚資料・特色資料（凧に関する資料）
寺泊地域図書館	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（北前船に関する資料）
寺泊地域図書館 大河津地区図書室	一般図書・児童図書・絵本・紙芝居・雑誌
栃尾地域図書館	一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（上杉謙信に関する資料、錦鯉に関する資料、水に関する資料、雪国の暮らしに関する資料）
館外奉仕室	一般図書・児童図書・絵本・紙芝居

以下次頁のとおり、中央図書館の資料種別ごとに選定基準を定める。

地域図書館と館外奉仕室の資料の選定基準は、中央図書館の選定基準に準ずるものとし、異なるものについては後段に館別に示す。

共通選定基準

- 1 各分野の基本図書を備えるほかに、時代の要請にあった図書を重視し、収集する。
- 2 個々の内容や、利用価値、類書の有無を考慮し、適正な蔵書構成を保つよう収集する。
- 3 ビジネス支援などの課題解決につながる資料は、積極的に収集する。
- 4 大活字本など高齢者の利用につながる資料については、配慮して収集する。

一般図書

総記（分類 0類）

- 1 情報科学・コンピュータに関する資料は、基本的な技術書・実用書を収集し、最新の情報を提供できるよう留意する。
- 2 図書館・書誌学・読書指導・著作権・出版に関する資料は、幅広く収集する。

哲学（分類 1類）

- 1 各分野の基本書を中心に収集し、入門書や概説書なども幅広く収集する。
- 2 宗教は、特定の宗教・宗派に偏らないよう考慮し、基本書を中心に収集する。
- 3 人生論や心霊・占い・姓名判断に関する資料は、厳選して収集する。

歴史・地理（分類 2類）

- 1 特定の歴史観や学説に偏らないよう、幅広く収集する。
- 2 伝記は、特定の人物に偏らないよう収集する。
- 3 旅行ガイドや地図は、最新の情報を提供できるよう収集する。

社会科学（分類 3類）

- 1 さまざまな学説や主張を学べるよう、多様な観点から資料を幅広く収集する。
- 2 各分野の基本書を収集し、入門書や概説書のほか、実用書にも留意する。
- 3 社会科学は時代と密接に関わっている分野であり、今日的主題を扱った資料は積極的に収集する。
- 4 法律及び税金・年金・介護など日常生活に必要な実用書は、最新の資料を収集する。

自然科学（分類 4類）

- 1 各分野の基本書を収集する。
- 2 自然科学は専門化・細分化されている分野であり、入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集する。
- 3 医療・健康・栄養学など関心の高い分野については、最新情報と記述の正確さに留意し、幅広く収集する。

工学（分類 5類）

- 1 各分野の基本書を収集する。
- 2 工学は専門化されている分野であり、入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集する。
- 3 進歩の著しい分野であり、最新の情報を提供できるように収集する。
- 4 住宅・インテリア・ファッション・料理の分野は、趣味や実用に役立つ資料を幅広く収集する。

産業（分類 6類）

- 1 各分野の基本書を収集する。
- 2 産業は専門化されている分野であり、入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集する。
- 3 各種産業の今日的課題を扱った資料を積極的に収集する。
- 4 園芸・ペットなどの分野は、趣味・実用に役立つ資料を収集する。

芸術・音楽・スポーツ（分類 7類）

*中央図書館の分類 700～759 は「美術資料」の項目を参照

- 1 市民の教養・趣味・娯楽に役立つ資料を、鑑賞・評価と制作・実技などの両面にわたり幅広く収集する。
- 2 趣味として利用の多い分野については、入門書を中心に収集する。
- 3 美術全集・画集・写真集は、基本書を中心に収集する。
- 4 タレント本は、内容を吟味したうえで慎重に収集する。

言語（分類 8類）

- 1 日本語・英語など主要な言語の基本書を収集する。
- 2 世界の言語については、入門書から概説書までを収集し、広く学習されている言語については、文法や発音・学習法なども収集する。
- 3 主要言語の辞典は幅広く収集する。
- 4 あいさつ・スピーチ・手紙の書き方についての資料は、実用性の高いものを収集する。
- 5 全国の方言に関する資料も収集する。

文学（分類 9類）

- 1 市民の利用が多い分野であり、豊富な資料を幅広く収集する。
- 2 日本文学については、現代作家から古典まで幅広く収集する。
- 3 外国文学についても、日本文学に準ずる。
- 4 主要な文学賞受賞作品や読み継がれる名著は積極的に収集する。
- 5 個人文学全集については、享年が昭和21年以後の著者のものを収集する（享年が昭和20年以前の著者の個人文学全集は、中央図書館で参考図書として収集する。）。
- 6 児童文学関係資料は、絵本論や児童文学研究書を中心に収集する。

参考図書（専門図書を含む。）

中央図書館では「参考図書」という名称を次の資料の総称として用い、これを収集する。

参考図書 { レファレンス資料
 { 専門図書

- 1 レファレンス資料は、記事の配列及び扱い方が通読されるようになっているのではなく、特定の情報記事が調べやすいようになっている資料とする。例えば、ア 辞典・事典・便覧・ハンドブック、イ 書誌、ウ 統計資料、エ 年鑑、オ 白書、カ 人名・団体名鑑、キ 地図、ク 法令集、ケ 図鑑、コ 電話帳、サ 官報、シ 新聞（縮刷版を含む）、ス 史料集・資料集などである。
- 2 専門図書は、一般市民が各分野で専門的な知識を習得するために必要な基礎的な図書とする。例えば、各分野の概論、研究史、資料集などや各分野の主要な方法論を明らかにしたもの、古典、原典などである。

総記（分類 0類）

- 1 百科事典、年鑑などは、レファレンスに利用される頻度が高いため、豊富な資料を収集する。
- 2 図書館資料の選択に必要な資料、書誌、改題及び目録類は、積極的に収集する。
- 3 図書館に関する資料、書誌及び関係機関に関する資料は、逐次収集する。

哲学（分類 1類）

- 1 各分野の代表的原典を中心に収集し、研究書は適正な蔵書構成のなかで収集する。

歴史・地理（分類 2類）

- 1 さまざまな学説の原典や資料集を幅広く収集する。
- 2 多様な歴史観を学べるよう、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

社会科学（分類 3類）

- 1 総論から各論まで幅広く収集する。

自然科学（分類 4類）

- 1 最新の学説や情報を常に提供できるよう留意する。
- 2 自然科学の各分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の高度な（大学の一般教養課程程度より高度な）専門書は、収集しない。

工学（分類 5類）

- 1 最新の技術や情報を常に提供できるよう留意する。
- 2 建築に関しては、最新の情報のみでなく、古代からの建築史についても留意する。
- 3 技術者や工学系学生が使用する高度で専門的な工学書は、各分野の基本書となる資料を中心に収集する。

産業（分類 6類）

- 1 産業界の今日的主題に関わる資料を積極的に収集する。

2 長岡市と関わりが深い産業についての資料を積極的に収集する。

音楽・スポーツ・諸芸（分類 760～799）

1 趣味として利用の多い分野については、上級者向けの資料も幅広く収集する。

言語（分類 8類）

1 辞典類は、核となる資料であり、多様な言語にわたり収集する。

文学（分類 9類）

1 書誌・辞典・事典・便覧など文学研究の参考になる資料を収集する。

2 文学を対象とした研究者の著作・評論集などを収集する。

3 特定分野について体系的に著述されたシリーズを収集する。

4 個人文学全集については、享年が昭和20年以前の著者のものを収集する（享年が昭和21年以後の著者の個人文学全集は、一般図書として収集する。）。

5 成人を対象とした、児童文学研究とその関連資料を収集する。

児童書（絵本・紙芝居を含む）

共通選定基準

1 本との出会いや読書の楽しさを体験できるよう、子どもの求めに対応できる資料を収集する。

2 各分野で評価の定まった資料は、常に備えるよう努める。

3 新刊書は積極的に収集する。

4 評価の高い資料や、利用が多く見込まれる資料は、適切な数の複本を用意する。

5 調べ学習に役立つ資料は積極的に収集し、適切な数の複本を用意する。

6 子どもの知的好奇心を満たし、物事への興味や関心を深める資料を収集する。

7 長岡市で採択している教科書を収集する。（小学校用・中学校用）

8 長岡市についての調査研究に役立ち、子どもの関心に応えることのできる資料収集に努める。

9 豊かな想像力を養い、視野を広げることができる作品を幅広く収集する。

10 子どもに支持されている作家の作品の収集に努める。

- 11 発達段階に配慮した、内容が正確でわかりやすい資料を収集する。
- 12 絵本から物語へ移行する年代の子どもたちが楽しめる作品を収集する。

総記（分類 0類）

- 1 百科事典を中心に、調べ学習に役立つ資料を収集する。

哲学（分類 1類）

- 1 わかりやすい哲学、倫理、思想及び宗教の資料を収集する。
- 2 子どもたちの悩みにこたえられる人生論や心理の資料を収集する。
- 3 心霊・占いなどに関する資料は、厳選して収集する。

歴史・伝記・地理（分類 2類）

- 1 歴史は、正確な史実に基づいているものを収集する。
- 2 伝記は、被伝者の欠点も含めた全人間像が描かれているものを収集する。
- 3 地理は、最新の情報と正確な知識が盛り込まれているものを収集する。

社会科学（分類 3類）

- 1 社会に対する見方を広げ深めることのできる資料を収集する。
- 2 社会の新しい動向について記述されている資料を収集する。
- 3 国際理解を深めるために、海外の生活・文化をわかりやすく紹介している資料を収集する。
- 4 民話や伝説については、再話に際して元の話に則した表現がされているものを収集する。

自然科学（分類 4類）

- 1 科学的な物の見方や考え方を育てることができるよう資料を収集する。
- 2 自然に対する興味を広げ、自然と触れ合いたくなるような資料を収集する。
- 3 図、写真及びイラストなどを効果的に使った資料の収集に努める。

工業・技術・家庭（分類 5類）

- 1 科学技術とその応用について、わかりやすく書かれた資料を収集する。
- 2 乗り物・料理・手芸などは、子どもの趣向に留意して資料を収集する。
- 3 科学や技術の進歩に合わせ、新しい内容の資料を収集する。

産業（分類 6類）

- 1 各種産業について、わかりやすく書かれた資料を収集する。
- 2 ペットの飼い方や園芸は、実用性の高い資料を収集する。
- 3 産業の新しい動向に沿った内容の資料を収集する。

芸術・スポーツ・遊び（分類 7類）

- 1 子どもが創作や制作の意欲を高めながら、楽しみ、遊べる実用性の高い資料を収集する。
- 2 子どもの趣向や流行に留意し、幅広く資料を収集する。
- 3 図、写真、イラストなどを効果的に使った資料の収集に努める。

言語（分類 8類）

- 1 言語は語学の学習に役立つ資料を収集する。
- 2 主要言語については、入門的資料を収集する。
- 3 方言について、わかりやすく書かれた資料を収集する。

文学（分類 9類）

- 1 最も利用の多い分野であり、豊富な資料を収集する。
- 2 豊かな想像力や空想力を養い、視野を広げられる作品を中心に、幅広く収集する。
- 3 子どもに支持されている作家の作品収集に努める。
- 4 評価の定まった作家の作品収集に努める。
- 5 昔話の特長が損なわれたり、書き換えられていない資料を収集する。

絵本

- 1 ブックスタート事業に関連し、乳児向けの作品は積極的に収集する。
- 2 絵と文が一体化しており、ストーリーがわかりやすい作品を収集する。

- 3 多くの人に読み継がれてきた作品を積極的に収集する。
- 4 評価の定まった絵本作家の作品収集に努める。
- 5 信頼性のあるブックリストに掲載されている作品は収集に努める。
- 6 子どもに人気のある作品は収集する。ただし、アニメ絵本については絵の内容についてよく吟味する。

紙芝居

- 1 絵と文が調和し、子どもが楽しめる作品を収集する。
- 2 絵が美しく、はっきりと描かれている作品を収集する。
- 3 子どもだけでなく、大人でも十分楽しめる内容の作品も収集する。

マンガ(マンガ表現そのものを楽しむことを目的に制作された作品)

- 1 評価の定まった作品を収集する。
- 2 原則として、刊行がすでに終了している作品を収集する。連載中のものについては、原則として連載が終了してから購入を検討する。
- 3 国内外の賞で話題になった作品には留意する。
- 4 マンガの視覚的な特性を考慮し、次のことに留意する。
 - (1) 暴力及び性表現の露骨な作品は慎重に選定する。
 - (2) 反社会的・非道徳的な事象を扱っている作品は慎重に選定する。
 - (3) 人間の生命の尊厳を脅かすもの、人権侵害・差別について配慮を欠くと認められる作品は選定しない。
- 5 マンガ文化に大きく貢献したと思われるマンガ家の作品や、社会的に評価されているマンガ、美術的価値のあるマンガについては、美術資料として収集する。

ヤングアダルト資料

- 1 ヤングアダルト資料(10代から20代前半を対象とする)は、一般・児童図書など資料の枠を超え、利用者が本に出会う楽しみを知るきっかけとなる資料を収集する。
- 2 実用書では、多岐にわたる興味の枝を伸ばすことを目的とし、時代に沿った新鮮な内容で、本の作り手から工夫や意思が感じられる資料を収集する。
- 3 文学は、現代の感性を生かした奥行きのある詩や小説を中心に収集する。古典は、青

春文学として読み継がれる作品を収集する。

美術資料（分類 700～759 以下の基準は中央図書館のみ適用する）

- 1 教養、趣味、鑑賞、研究、制作、技術など、入門書から高度な学術書まで、幅広く収集する。
- 2 美術全集、画集、写真集、工芸名品集などは、基本的なものを中心に幅広く収集する。
- 3 個人の画集は、掲載図版の重複するものがあるので、その内容を吟味し、作品を網羅できるものを収集する。
- 4 付録などの形態によって収集の差異を設けない。
- 5 新潟県内の美術館や博物館の図録は郷土資料として収集する。県外のは展覧会の内容を選択して収集する。

郷土資料

- 1 郷土の歴史・文化を後世に引き継ぐため、当市に関する多様な資料を収集する。
- 2 利用者の郷土に関するあらゆる調査研究に応えるため、網羅的に資料を収集する。
- 3 資料の保存を考慮して、原則として複本で収集する。
- 4 資料収集の優先順位は、次のとおりとする。
 - (1) 第一地区 長岡市
 - (2) 第二地区 中越地区
 - (3) 第三地区 新潟県
- 5 第一地区に関する資料は、網羅的に収集することを原則とし、次の資料を収集する。
 - (1) 当市の歴史、地理、地誌、自然、産業、経済などを取り扱ったもの（研究、記録、統計、目録、索引、写真など）
 - (2) 当市の人物、事柄を取り扱ったもの
 - (3) 当市に伝わる事柄を取り扱ったもの（説話、伝説、民話、言葉、風俗、習慣など）
 - (4) 当市出身の文学者の文学作品及び評論
 - (5) 市内官公署の刊行する資料
 - (6) 市内所在の各機関の社史、団史
 - (7) 当市出身者や在住者など、当市に特に深い関係を有する人の作品、目録など
 - (8) 市内において出版されたもので当市に関係を有するもの

(9) 当市について記述されている雑誌、新聞、パンフレットなど

6 第二地区から第三地区に関する資料は、次のような資料を収集する。

(1) 県史、市町村史の類

(2) 歴史、民俗、地理、地誌及び自然に関する資料

(3) 文化財に関する資料

(4) その他、主要な資料

7 特別資料・古文書

文書資料室と協議・連携を図りながら、図書館と文書資料室のどちらで保存するかを決定する。

郷土に関する絵画等美術資料についても、収集保存する。

外国語資料

- 1 文学作品（外国語訳された日本文学・外国語の原書）を中心に、日常生活の参考になる実用書も含めて収集する。（英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語など）
- 2 優れた絵本や児童文学などを収集する。
- 3 画集やガイドなど、基本的な美術資料を収集する。
- 4 美術図書で、国内で発行されていない作家論、画集、研究書などを積極的に収集する。
- 5 在住外国人向けに、日本語学習のための資料についても留意する。

雑誌

- 1 市民の趣向や流行に留意し、各分野・他館とのバランスを考慮して収集する。
- 2 雑誌の休刊・改廃が生じた場合は、当該誌の分野や保存年数及び金額などを考慮して、各分野のバランスを崩さないよう、各館雑誌担当者で検討する。
- 3 雑誌の収集期間は、原則として中央・互尊・西・南・北館は6月から翌年5月までの1年間とし、中之島・寺泊・大河津・枳尾館は4月から翌年3月までの1年間とする。

新聞

- 1 主要な全国紙を中心に収集し、地元紙にも留意する。
- 2 新聞の改廃が生じた場合は、該当紙の分野や保存年数及び金額などを考慮して、各館で検討する。

- 3 新聞の収集期間は、原則として1年間とする。

視聴覚資料等

1 視聴覚資料

各分野の代表的な作品を中心に、趣味・レクリエーション・ビジネス・日常生活に役立つ資料を収集し、郷土史などの市販資料及び自主制作資料にも留意する。

- (1) 音声資料は、CDを中心に収集する。地元で活動するアーティストにも留意する。

ア クラシック音楽は、各部門の基本的な曲目で、音楽史に影響を与えた演奏を収録した資料

イ ポピュラー音楽は、各年代の代表的な曲目を収録した資料

ウ 民族音楽は、各民族の代表曲を収録した資料

エ その他の部門は、代表的な名作や名演を収録した資料

- (2) 映像資料は、VHS・DVDを収集することとし、著作権（上映・館内視聴・館外貸出）許諾済の資料を収集対象とする。

ア 映画作品については、評価の定まった作品を収集する。

イ 趣味、ビジネス、日常生活に役立つ資料を収集する。

- (3)ユニバーサル文庫資料は、VHS・DVD（著作権許諾済の字幕付映画、又は画像だけで楽しめる作品）及びCD・カセットテープ（文学作品の朗読、落語、対談、講演などの音声作品）を収集対象とする。

2 マイクロフィルム

新聞のマイクロフィルム版を選択して収集する。

特色資料

次のテーマに関する資料を体系的に収集する。

1 美術資料（別項に記載のとおり）

2 堀口大學コレクション

堀口大學関係資料は、新たな資料が発行されたときは積極的に購入する。

3 当市にゆかりの深い人物の旧蔵・寄贈資料

- (1) 伊東多三郎文庫（伊東多三郎旧蔵・歴史関係資料）

- (2) 笠輪勝太郎文庫（笠輪勝太郎旧蔵・長岡市郷土関係資料）
- (3) 川上四郎文庫（川上四郎旧蔵・絵本及び児童画関係資料）
- (4) 斎藤和代文庫（斎藤和代旧蔵・教育関係資料）
- (5) 酒井洋文庫（酒井洋旧蔵・工学関係資料）
- (6) 反町茂雄文庫（反町茂雄寄贈・長岡市郷土関係資料）
- (7) 星野慎一文庫（星野慎一旧蔵・ドイツ文学関係資料）

4 国書

5 漢籍

地域図書館の特色資料

1 各地域図書館は、特色資料として以下の資料を収集する。

図書館名	特色資料	図書館名	特色資料
互尊文庫	非核・平和に関する資料	西地域図書館	昔話に関する資料 信濃川・橋に関する資料
南地域図書館	ユニバーサル文庫 醸造に関する資料	北地域図書館	緑花に関する資料 花火に関する資料
中之島地域図書館	凧に関する資料	寺泊地域図書館	北前船に関する資料
栃尾地域図書館	上杉謙信に関する資料 錦鯉に関する資料 水に関する資料 雪国の暮らしに関する資料		

2 美術資料（分類 700～759）は、一般図書として収集する。

館外奉仕室

自動車文庫や各種団体に貸出するための資料を収集する。

- 1 一般、児童ともに利用の多く見込める資料（特に小説や絵本）を中心に収集する。
- 2 教養書や実用書については、話題性の高い資料を中心に新鮮な資料がそろそろよう、資料の更新に留意する。
- 3 学校貸出文庫等利用の多い資料については、十分な複本を用意する。
- 4 郷土資料は、一般図書として収集する。
- 5 美術資料（分類 700～759）は、一般図書として収集する。
- 6 選書にあたっては、一般書・児童書・ヤングアダルト資料の内容を吟味しながら収集する。
- 7 新聞、雑誌は収集しない。
- 8 視聴覚資料は収集しない。

その他

1 収集しない資料

長岡市立図書館として、次の資料は収集しない。

- (1) 個人が専有して使用することを目的として出版された資料（例えば、学習参考書、資格取得に関する問題集、ゲーム攻略本など）
- (2) 1回又は数回の使用でその利用価値が著しく損なわれる資料（例えば、ひらがな練習帳、シールブック、ぬりえなど、個人による書き込みや切り取りなどにより利用価値が生じる資料や、壊れやすい立体絵本など）
- (3) 名作を安易に作品化したもの

2 外部データベース

社会の動きに即応した有用な情報を提供するため、外部データベースを積極的に導入する。